

## 「外町交差点周辺渋滞対策検討委員会」 開催の目的と内容

国道8号、国道306号、彦根近江八幡線が交わる外町交差点は、近傍に名神高速道路彦根インターチェンジが接続するなど交通集中が著しい地域であり、恒常的な交通渋滞を招いています。そのため、通勤や観光、物流などの社会活動を阻害し、多大な損失を与えているほか、騒音や大気汚染など沿道環境にも重大な影響を与えており抜本的な対策が急務となっています。

この対策検討のために、学識経験者をはじめ地元住民や道路利用者、関係する道路管理者の方々からなる「外町交差点周辺渋滞対策検討委員会」を組織しました。来年3月を目標に、具体的かつ効果的な対策案をとりまとめていく予定です。



## 第1回委員会の開催

第1回委員会が、塚口教授を委員長として平成15年11月12日(水)、彦根市民会館にて開催されました。その概要を以下にお知らせします。

### 交通渋滞の状況および原因

#### 渋滞状況

渋滞は外町交差点を先頭として国道8号米原方面と国道306号方面でそれぞれ朝ピーク時(8時頃)に最大1.5kmとなっています。夕ピークにおける渋滞の長さは、朝ピークより少ない傾向にあります。

#### 渋滞原因と対策の必要性

混雑している国道8号へさらに国道306号などから多くの交通量が流入

外町交差点の交通容量不足

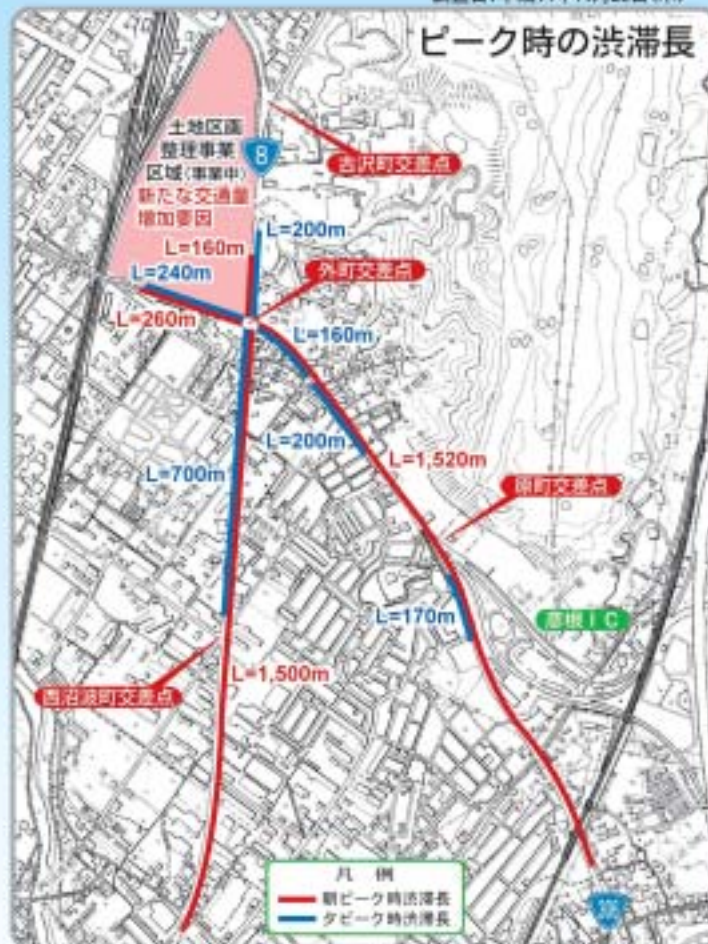
周辺地域での新たな交通需要の発生

外町交差点において渋滞発生

渋滞を悪化させる要因の存在

何らかの抜本的な渋滞対策が必要

調査日:平成14年11月28日(木)





## 交通流シミュレーションによる評価

今後検討する対策案の実施によって、どの程度渋滞が緩和されるかを交通流シミュレーション（計算機の中で車両1台ずつを動かすことにより、交通の流れを再現するもので、アニメーションによって結果を表現する手法）によって評価することにしました。この手法では、まず現況再現（現実の状況が再現できるように係数を調整する作業）を行うことによって交通流シミュレーションの精度を高める必要があります。以下の図に現況再現状況を示しています。



AM 8:00



渋滞が発生

交通流シミュレーションによる現況再現結果（外町交差点周辺の状態）

## 委員会での討議

委員会では、報告された渋滞の状況や交通流シミュレーションについての意見や質問など、活発な討議が行われました。この結果、委員会として地域の交通状況や渋滞原因の共通認識を持つとともに、交通流シミュレーションを用いた対策案評価手法の採用が了承されました。



## 委員会スケジュールと構成メンバー

### 第1回委員会（H15.11.12）

- ・地域の交通状況の把握
- ・渋滞原因の分析
- ・対策案評価手法の確認

### 第2回委員会（H15.12中旬）

- ・物理的に可能な対策案の立案
- ・対策案の評価指標の設定
- ・対策案の絞り込み（3案程度）

### 第3回委員会（H16.2月上旬）

- ・交通シミュレーションによる対策案評価
- ・対策案の総合的な比較検討
- ・最適対策案の選定

団体名	氏名	委員長	役職
学識経験者	塚口 博可		立命館大学理工学部教授
地域代表	戸崎 博司		佐和山学区連合自治会長
地域代表	原 多喜彌		鳥居本学区連合自治会長
彦根警察署	白崎 友一		交通課長
彦根商工会代表	北村 昌造		彦根商工会議所会頭
利用者代表	小川 幹雄		トラック協会彦根支部長
国土交通省	井筒 由幸		滋賀国道事務所調査課長
日本道路公団	井手 俊也		関西支社建設第一部企画調査課 課長代理
滋賀県	辻井 孝司		土木交通部道路課課長補佐
滋賀県	今井 崇		土木交通部都市計画課主幹
彦根市	西川 良雄		建設部長
彦根市	北川 久二		都市開発部長
滋賀県	小井 克己		湖東地域振興局建設管理部副部長